

オリンピック・パラリンピック「学校連携観戦」は中止を

子どもたちと教職員のいのちと安全を守るために区教委に申し入れ

都教組杉並支部は、標記のことについて区教委に緊急の申し入れを行いました。3度の緊急事態宣言が出されても新型コロナウイルスは一向に抑えられず、しかも猛暑の時期に計画されているオリンピックの「学校連携観戦」は、子どもたちの命と安全にかかわるいくつもの重大な問題があります。職場のご意見をぜひお聞かせください。

2021年5月27日

杉並区教育委員会
教育長 白石高士 様

東京都教職員組合杉並支部
委員長代理 松永 晃

子どもたちと教職員のいのちと安全を守るため、オリンピック・パラリンピックの「学校連携観戦」の中止を求める緊急の申し入れ

日頃より、杉並区の教育へのご尽力に敬意を表します。

東京都では3回目の緊急事態宣言が5月末までに延長されましたが、新型コロナウイルスの感染は一向に抑えられていません。さらに、変異ウイルス株が猛威をふるい、死亡者・重症者の増加、医療崩壊が危惧される状況です。

このような中で、オリンピック・パラリンピックの実施は感染をさらに拡大させる危険があると、中止・延期を求める世論が日増しに多くなっています。

政府や東京都は、未だ開催中止に言及していません。ワクチンの調達情報の未公開、接種の出遅れ、申し込みの混乱、医療従事者の確保の不安等、問題は山積しています。当初政府が言っていた7月までの高齢者接種完了は、未だ不透明です。

一方学校では、再三の緊急事態宣言のもと、子どもたちが楽しみにしている修学旅行や社会科見学等の校外学習活動などが、中止または延期、変更をせざるを得なくなっています。運動会、学習発表会、文化祭などの学校行事も、子どもの希望をふまえ安全に配慮した工夫をして全力で取り組んでいます。

それなのに、子どもたちのオリンピック・パラリンピック「学校連携観戦」は、新型コロナ禍以前に計画された観戦計画が、そのまま進められようとしています。先日都が行った実地踏査では、会場で出された質問や要望に具体的な説明や返答はありませんでした。会場での感染防止対策は何も示されていません。また、公共交通機関のみを利用した観戦会場への移動計画も危険です。混雑し大混乱が生じかねません。トイレの問題一つをとっても大問題です。三密を避ける、人流を抑制するとの施策とは真逆の計画となっています。また、子どもたちを引率する教職員の負担は計り知れません。もう一つ大きな問題は、このオリンピックの観戦計画が、最も熱中症の危険がある猛暑の時期に当たっていることです。

このように、子どものいのちと安全を危険にさらすオリンピック・パラリンピックの子ども観戦実施は、あまりにも無謀と言わざるを得ません。

つきましては、オリンピック・パラリンピックの実施の有無にかかわらず、子どもと教職員のいのちと安全を最優先に考える立場から、オリンピック・パラリンピック「学校連携観戦」を中止するよう要請するものです。また、このことを東京都に働きかけて下さるようお願いいたします。